

島根県公共事業再評価委員会 質疑応答

件名	令和6年度 第2回島根県公共事業再評価委員会
開催日	令和6年8月20日(火) 9:30～15:20(移動時間含む)
場所	松江市内、出雲市内
出席者	<p>●委員 今井順一、上野和広、佐藤真理、常國文江(欠席)、寺田哲志、豊田知世、長廻英夫、堀田崇由、松浦俊彦、三輪淳子</p> <p>●県</p> <p>審議地区① 土木部 建築住宅課</p> <p>審議地区② 土木部 建築住宅課</p> <p>審議地区③ 土木部 河川課 松江県土整備事務所</p> <p>審議地区④ 土木部 河川課 出雲県土整備事務所</p> <p>審議地区⑤ 土木部 道路建設課</p> <p>審議地区⑥ 土木部 砂防課 出雲県土整備事務所</p> <p>【事務局】 土木部 技術管理課</p>

質疑応答

◇審議地区① 9:45～10:10

淞北台地区地域居住機能再生推進事業 大輪町地区

1. 現地で配布資料により事業概要、進捗状況等を説明

(委員)

79戸すべて入居されているか。また、入居者の入れ替わりはあるか。

(建築住宅課)

入居者の入れ替わりはあるものの、常に満室の状況です。

(委員)

民間のマンションと遜色ないように見えるが、整備水準は決まっているか。

(建築住宅課)

県では、国が定めた参酌基準に基づいて整備基準を定めています。

(委員)

太陽光パネルの設置などは整備基準に定められていないのか。

(建築住宅課)

現行の整備基準では、国の基準の改正に併せて、太陽光パネルの設置や ZEH 水準の確保を定めています。大輪団地建設時点においては、定められていませんでした。

(委員)

太陽光パネルの設置や ZEH 水準の確保など、各種基準の高度化を予測して建設することが望ましいのではないかと。

(建築住宅課)

建設費が入居者の家賃算定に影響することから、過大な仕様とならないようにその時点の基準に基づき判断しています。

(委員)

家賃はどのくらいか。また、民間の賃貸住宅と比べて安いのか。

(建築住宅課)

公営住宅の家賃は、入居者の収入に応じて決定するため、入居者により異なります。同時期に建設された同規模の民間賃貸住宅の家賃と比べると低くなっていると思われます。

(委員)

共用廊下の手すりの設置意図は。

(建築住宅課)

高齢者等の方が円滑に移動できるように配慮して設置しています。

(委員)

外廊下の幅はどのようにして決めているか。

(建築住宅課)

建築基準法などの関係法令に基づいて適切な広さを確保しています。

(委員)

児童クラブの利用状況は。

(建築住宅課)

県では児童クラブを運営する事業者と物件の賃貸借契約を締結しているのみで、最新の利用実態については把握していませんが、令和3年度時点では80名の定員であったのに対し、現在の事業者のホームページによれば、定員が160名に増えています。

(委員)

団地内にある福祉施設等は、元々この土地にあったものか。

(建築住宅課)

大輪団地建設前のこの土地は、他の県有施設があり、解体して整備しています。現在ある福祉施設等は新たに設置しています。

◇審議地区② 10:25～10:55

淞北台地区地域居住機能再生推進事業 淞北台地区

1. 現地で配布資料により事業概要、進捗状況等を説明

(委員)

淞北台団地新1号棟の建設にあたり、大輪団地建設時のフィードバックを生かしているか。

(建築住宅課)

県では、建物の設計を進める際に、これまで建設した県営住宅の整備内容や利用実態を精査し、より良い設計となるよう努めています。

(委員)

拡幅した歩道にガードレール等を設置していないのはなぜか。

(建築住宅課)

解体及び建設工事を行うために必要な大型車両を搬入する際に支障となる恐れがあるため、現時点では、設けていません。団地内の工事の進捗に併せ、車道と歩道の境にブロックを設ける予定としています。

(委員)

駐車場の台数の考え方は。

(建築住宅課)

管理戸数に外来者用を加えた数を整備しており、管理戸数の1.1倍程度を標準としています。

(委員)

工事を実施する際に大型車両は、朝(出勤・登校)の時間帯にも通行するのか。

(建築住宅課)

これまでの工事においても大型車両の通行は、通勤・通学の時間帯からずらすなどの制限をしながら実施しております。今後の工事においても、これまでと同様に、事前に周辺住民の方に説明し、意見を伺いながら実施していく予定です。

(委員)

団地周辺にはどのような公共交通機関があるか。

(建築住宅課)

県営住宅より南側の位置にあるロータリーにバス停があります。

(委員)

大輪団地と同様に、淞北台団地についても福祉施設を整備するか。

(建築住宅課)

新2号棟において、周辺住民の方も利用できる集会施設を併設する予定としていますが、福祉施設の整備は予定していません。

なお、今回の整備事業によって創出する余剰地については、条件付き売却等を行い、民設民営方式で、福祉施設など地域にとって必要性のある施設の誘致も想定しています。

(委員)

すべて解体するのではなく、一部の住棟を残すことで、災害避難用住戸等に流用できるのではないか。

(建築住宅課)

県営住宅の整備計画については、今後の県の人口の推移等を踏まえて、必要な戸数を検討しています。松江市においても将来的に人口が減少する傾向にあることから、計画的に全体戸数を減らしていく必要があり、淞北台団地についても現地では減らす計画としています。削減する戸数の検討においては、災害時に一時的に利用する空き戸数を他の団地で確保できるように考慮したうえで、設定しております。

◇審議地区③ 10:55～11:20

大規模特定河川事業 中川

1. 現地で図面を用いて事業概要、進捗状況等を説明

(委員)

一級河川の管理者は県なのか

(河川課)

指定区間は県で管理し、その他は国で管理しています。

(委員)

右岸と比較し左岸の護岸高が低い

(河川課)

今後右岸と同じ高さに盛土を行い、嵩上げします。

(委員)

ワークショップを実施していると説明されていたが、参加者は誰で、どのように現在の計画に反映されたのか。

(河川課)

参加者については、確認して後日回答します。

反映された事項として、現在の護岸が普通のブロック積みでなく、景観配慮型になっています。

(委員)

比津川、中川ともに最終の流末である四十間堀川の交融橋より下流の河川幅が必要では。河川は下流から整備するのがセオリーでは。四十間堀川は放水路をまっすぐ(城西通り)にとおすのか

(河川課)

四十間堀川を放水路で通す計画はありません。

現時点では現在の川の断面の隣に同程度の断面の河川を整備する計画です。

(委員)

その計画では比津川にポンプをつけないと比津、黒田地区はつかる。

(委員)

今年の7月豪雨で中川周辺は浸水したか。

(河川課)

中川から水があふれたことによる浸水はありませんでしたが、道路の側溝などからあふれた水で冠水した箇所はありました。

(委員)

比津川流域ではカナツ技研の周辺が一番冠水していた。

(河川課)

カナツ周辺が一番低いため、その個所に水が集中して冠水が発生していました。

(委員)

城西通りのウエルネス薬局前も冠水していた。あのあたりには既存の排水ポンプ施設もあるはずだが。

(河川課)

当該ポンプ施設は常時排水用。出水時の強制排水は目的としていません。

カナツ周辺やウエルネス薬局前の冠水はいずれも中川や比津川の溢水が原因ではなく地盤の低さが原因と考えています。

(委員)

護岸の高さは先ほど確認したが、幅は。

(河川課)

現在整備されている橋梁(摩利支橋)と同じ程度の高さまで、市道部分の嵩上げを行い併せて拡幅も行います。

(委員)

前回は確認したが、整備順位的には下流側を整備してから上流を整備するのがセオリーではないのか。

(河川課)

中川周辺は地盤高が低く浸水の常襲地帯となっているため、現在河川改修を行っています。中川を整備したことによる影響についてもシミュレーションを行い、S47 洪水と同程度の洪水に対して新たな浸水範囲を生じさせる解析結果は出ておりません。

(河川課)

補足説明すると、松江堀川周辺は河川の勾配がないため、ポンプを S47 年以降、四十間堀川流末に2基、上追子川に1基整備を行っています。中川については、自己流を流す断面がないため、拡幅を行っているという状態。下流の整備を行っていないというわけではなく、現在の整備を行った状態で解析を行って、一番被害が大きい中川を拡幅整備しています。

(委員)

この手法(上流側を先行する)という整備手法はほかの川でもできるのではないのか。

◇審議地区④ 13:00～13:20

広域河川改修事業 高瀬川

1. 現地で図面を用いて事業概要、進捗状況等を説明

(委員)

大梶七兵衛が開削した河川か

(河川課)

大梶七兵衛が開削した高瀬川は出雲市内を流れる出雲市管理河川です。本川とは違います。

(委員)

近年の浸水被害は

(河川課)

令和3年度に浸水家屋2軒、今年度に浸水家屋1軒です。

(委員)

数軒のためにこれから上流に向けて事業を行っていくのか。ここで終わるということは考えないのか。

(河川課)

本川の浸水範囲は解消されますが、上流側の市管理河川では浸水被害が発生しています。上流側の浸水被害を解消するためには、県河川の改修は必要です。

(委員)

河川幅が計画で 11.0m となっているが、ここまでの河川幅が必要なのか。

(河川課)

川に勾配がないため、河川幅を広くしないと水が流れません。また、1/10 確率の流量計算によって算出しています。

(委員)

下流側のポンプの効果は、どれだけ稼働しているの。

(河川課)

ポンプの稼働状況については出雲市管理のポンプなので出雲市に確認します。しかし、ポンプは農業用であるため、降雨に対しての稼働実績をとっていないかもしれません。出雲市に聞き取り後日回答します。

(委員)

連杭は何のために必要なの。

(河川課)

連杭を設置して寄せ石を行うことで、生物に配慮した多自然な河川整備を行っています。

(委員)

川の表面の緑化は。

(河川課)

これも多自然河川整備の一環で緑化（張芝）を施工しています。

◇審議地区⑤ 13:30～13:50

国道431号道路交通安全施設等整備事業(通学路緊急対策) 国富工区

1. 現地にて配布資料により事業概要、進捗状況を説明

(委員)

これができるかと一連で歩道がつながるのか。

(道路建設課)

今回事業で歩道が無い区間を施工しており、事業によりつながる計画です。

(委員)

用地進捗率が66%となっているが、過去(R1年)から進んでいるのか。

(道路建設課)

用地取得については、国富郵便局から西については、買収済みである。工事も西側に向かって進めていることもあり、東側の用地買収は今後進めていきます。

(委員)

通学路としては、誰が使っているのか。

(道路建設課)

近くには国富小学校があり、一部通学路で使用しています。また、平田中、平田高校の生徒も通っています。

(委員)

河川を付け替えて歩道を作っているとの事であるが、元の河川はどこにあるのか。

(道路建設課)

現況河川の下流側を見て右側に移設しています。

(委員)

付け替え河川に設置している橋梁が河川護岸天端高さより低い位置にあるように見えるが問題ないのか。

(道路建設課)

付け替えで設置した橋梁については、現況河川の H.W.L よりも高い位置にしているため、問題はありません。

(委員)

付け替え河川は河川断面を変えているのか。

(道路建設課)

現況河川と同じ断面で復旧をしています。

(委員)

この付近はよく冠水すると思うが、この河川断面で問題ないのか。

(道路建設課)

現在下流側で河川事業を実施しており、上流側に向かって進めている状況である。その事業が来た段階で広げることとなると思います。

(委員)

河川事業を踏まえた用地買収を実施しているのか。

(道路建設課)

用地買収についても、道路事業で必要な部分しか買収はしていません。河川事業で必要になった場合はその事業の中で買収することとなります。

(委員)

現場においてある筒があるが、あれは何に使うのか。

(道路建設課)

付け替え河川を施工する際、ブロック積等の施工には水を止める必要があり、その時に使用する仮設資材です。

(委員)

路肩が 0.50cmとなっているが、ここは自転車が通る箇所か。自転車がここを通るため、車で横を通るとき危険を感じている。自転車が通る区間も作ったら良いと思う。

(道路建設課)

基本的に自転車は路肩を通ることになっています。今回事業で、路肩の設置および車道幅員を広げているため、安全性は向上すると考えています(歩道については、自転車通行指定がされており、自転車通行可能)。

今後検討します。

(委員)

現在、歩道部分で工事をしているが、歩行者は通ることができるのか。

(道路建設課)

仮設歩道を設置しており、そこを通行してもらっています。

◇審議地区⑥ 14:10～14:30

山崎川 事業間連携砂防等事業

1. 現地にて配布資料により事業概要、進捗状況を説明

(委員)

丁張(トンボ)がたくさんありますが、何のためのものですか？

(出雲県土)

盛土の巻き出し厚を示すためのものです。

(委員)

小さなバックホウ(ユンボ)があるあたり(工事用道路終点あたり)に堰堤が設置されるのですか？

(砂防課)

はい。そのあたりに透過型堰堤を設置します。

(委員)

足元に水が流れていますが、これは谷からの水ですか？普段はこのように水が流れているのですか？

(砂防課)

そうです。今は工事のため、仮設パイプを設置し水を排水しております。

(委員)

工事用道路はこの辺りまで作るのですか？(図面の堰堤の位置を指しながら)

山の奥まで道が計画されているように見えますが。

(砂防課)

工事用道路(管理用道路)の計画は堰堤までです。それから先の山奥へ通じる道は、もともと山を管理の方がおられ、その方が利用できるように山道を残す計画です。

(委員)

土砂が堆積したら、この管理用道路を利用して土砂撤去をするのですか？

(砂防課)

そうです。管理型堰堤であるので、土石流などが発生して土砂が堆積した際には、管理用道路を利用して土砂撤去を行います。基本的に堰堤を管理するための道路ですので、一般の方が進入すると危険であるため、普段はバリケード等で進入できないようにします。

(委員)

鱒淵小学校(保全対象)には何人ぐらい生徒がいるのですか。

(砂防課)

すいません、生徒数は把握しておりません。小学校は出雲市の地域防災計画で避難所に指定されております。(後にHPで調べると、R6時点で生徒数は15人)

(委員)

補足ですが、鱒淵小学校は今年度で廃校になります。

(委員)

廃校になったら保全人家数が足りなくなるのではないですか？

(砂防課)

本事業は避難所の保全を目的として整備しています。事業要件としては問題ありません。

(委員)

「砂防ダム」と「砂防堰堤」はどう違うのですか。

(砂防課)

言葉は違いますが、基本的な役割は同じです。

(出雲県土)

厳密には高さが15m以上のものをダム、高さが15未満のものを堰堤としています。

(委員)

下流直下に家がありました、あの家は空き家ですか？

(砂防課)

そうです。工事用道路に面した家は空き家です。

(委員)

保全対象は4軒と言われたが、4軒の中に空き家は含まれていますか？

(砂防課)

含まれません。居住している人家が4軒です。

(委員)

流量が少ないため、一般的にイメージする川とは違うように見えますが、山崎川は河川なのでしょうか。

(出雲県土)

平常時は今ご覧になっている程度の流れですが、大雨の時は流量が増えます。

(砂防課)

沢のように見えますが、唐川川の支川です。

(委員)

最近の雨の影響はどうでしょうか？被害などはないのでしょうか？今年はかなり降ったと思いますが。

(出雲県土)

今年度は現時点では被害は確認されていませんが、昨年度(令和 5 年度)は大雨の際に下流の柵から水が溢れました。また、その時に地元住民に聞いたところ令和 3 年度の大雨の際にも同様に溢れたようです。

令和 5 年度の雨では下流にある河川の合流点で土砂が堆積して、道路が通行止めにもなりました。

(委員)

現場にある岩石は工事の際に出てきたもののようですが、どのような地質ですか？

(砂防課)

(ボーリング調査資料を示しながら)礫混じり土砂、泥岩などです。

(委員)

対策箇所の順番はどのようにして決めているのですか？

(砂防課)

土木部として今後 10 年の実施方針を定めており、要配慮者施設や避難所等を重点的に整備することとしております。

山崎川は、避難所が保全対象となっており、優先度の高い箇所です。

(委員)

右岸側には岩盤が露出していますが、岩がでるのは右岸側のみですか？

(砂防課)

右岸側で岩盤露出が見られますが、他はほとんど土砂と思われます。

(委員)

この堰堤の形式は透過型堰堤でしたね？

(砂防課)

そうです。近年の土石流災害では流木による被害も大きいため、流木を補足する目的で透過型を選定しております。

(委員)

管理用道路には舗装をするのですか？

(砂防課)

コンクリート舗装の計画です。

(委員)

周辺の山は民有林ですか？砂防施設と同様に森林を管理できないのでしょうか？

(砂防課)

周辺は民有林です。砂防堰堤を設置、管理するための事業なので山の管理は砂防事業では行いません。